

# ようこそ ようこそ

十月を終え、十一月、当山にとっては一年で一番忙しいひと月を迎えました。これから、二百軒ほどご門徒宅を伺い、お仏壇の前で正信偈をつとめ、領解文を申すご縁をいただきます。

十一月の寺報は一番編集で頭をいためます。というのも、このページ(二ページ)に何を書こうかと思ひ悩むからです。他の月は事前に時間の余裕があるのですが、十一月は冒頭申したように忙しく余裕がありません。

先月、妙好人「浅原才市」さんの  
差し支えなし  
お催促なし

という言葉を使わせていただきました(才市さんの言葉とは触れませんでした)。今月は妙好人「因幡の源左」さんの  
ようこそ ようこそ

という言葉を紹介したいと思えます。ただし、梯 實圓和上と松田正典先生共著「妙好人に学ぶ」という書籍の梯和上の文章を引用させていただきます。

高千穂町向山に教願寺という浄土真宗本願寺派の寺院があります。その教願寺境内地入口に「ようこそ ようこそ」と丸太に刻んだ文字があります。この「ようこそ」は、「教願寺にようこそ参りくださいました」との歓迎の意だ

といただいております。梯和上の文章を読むと源左さんの「ようこそ」は歓迎の意味ではなさそうです。

源左さんは田んぼの草取りをした後、手を洗い、その洗った手を顔の前に持ってきて、「なんまんだぶ なんまんだぶ ようこそ ようこそ」と拜んでいたそうです。鋤を使って農作業を一年もすると、鋤

の歯をかえなければならぬが、自分の手はかえる必要がない、「ようこそ」の手先をかえることもなく働いてくださいました」と私はこの「ようこそ」は感謝の意味で使ったことでした。また、農作業している時に急な夕立にあい、雨具の用意をしていなかったの濡れでとぼとぼと家に帰っている途中、手継寺の住職に「爺さんよう濡れたのう」と声をかけられると、源左さんは「有難うござんす、御院家さん、鼻が下に向いとるで有難いぞな」と言っていて、「なんま



んだぶ なんまんだぶ」と称えながら家に帰っていったそうです。

鼻がもし上向きについていたら雨水が鼻の中に入り、息ができなくなってしまう。鼻が下向きについているからこうして歩いて家に帰れると、有難いといただかれた「ようこそ」だったのでしよう。

梯和上がこの書籍の中で、源左さんの薫陶を受けた源左さんの甥の孫、足利敏夫さんの言葉を紹介しておられました。「寝る時に、目が開くかなあ、どうかなあと思ひながら寝ます。けど、この世の目が開かなかつたら、お浄土の眼が開く時だ」と、お念仏のお育てをいただきました。

「有難うござんす、御院家さん、鼻が下に向いとるで有難いぞな」と言っていて、「なんま

## 法語の世界

《原文》

蓮如上人 物をきこしめし候ふにも 如来 聖人 親鸞の御恩にてましまし候ふを御忘れなしと仰せられ候ふ。一口きこしめしても 思召し召し召し召し召し召し候ふよしに候ふと云々

(『蓮如上人御一代記聞書 二百六十六』)

《現代語訳》

蓮如上人は、「食事をいただくときにも 阿弥陀如来 親鸞聖人のご恩によって恵まれたものであることを忘れた」とはなしと仰せになりました。また、「ただ一口食ても そのことが思ひおこされてくるのである」とも仰せになりました。

二〇二一年 (令和三) 年

金光寺報恩講のお知らせ

日時  
十二月十五日 午前十時〜 日中法要(上下参り)  
(九区・十三区・十四区地区)  
午後六時〜 速夜法要(お番)  
十二月十六日 午前十時〜 日中法要  
(十区・十一区・十二区)

講師 福岡教区 志摩組 海徳寺住職  
浄土真宗本願寺派布教使  
松月 英淳 師

その他

お参りの際は、門徒式章、念珠と聖典(お経本)をご持参ください。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、必ず、マスク着用の上、入堂の際は準備しているアルコール消毒液で手指を消毒してください。体調不良の方は参詣をご遠慮ください。  
報恩講期間中の日中法要(午前十時から法要)にお仕事等でお参りできない方は、十二月十五日午後六時から速夜法要にお参りください。  
法要終了後のお参りについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためお配りします。ご自宅でお召し上がりください。  
浄土真宗では一番重要な法要・法座に多くの方のご参詣をお待ちしております。是非、ご勝縁をお結びください。